

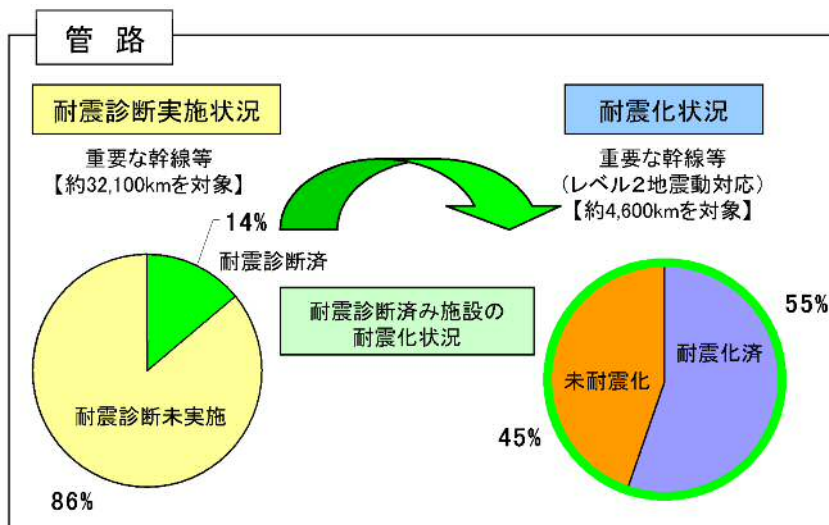
下水道管渠施設の耐震化はされていますか？

◆下水道は代替手段のないライフライン◆

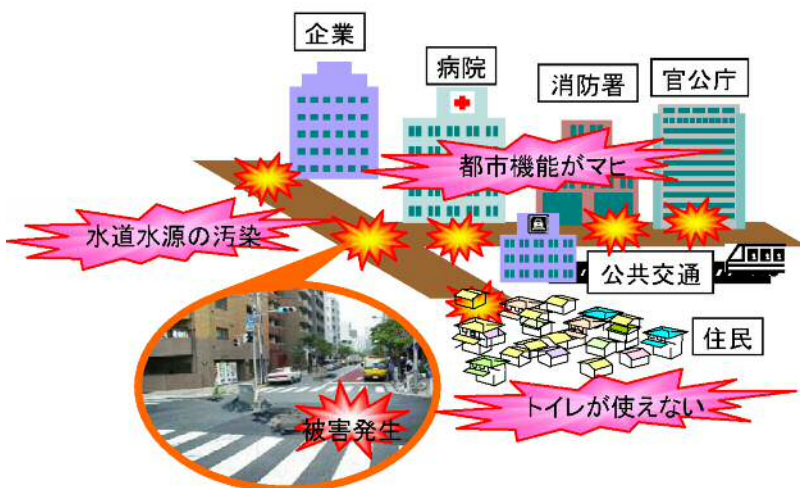
- ・下水道施設は、他のライフラインと異なり、地震時に同等の機能を代替する手段がない。
- ・マンホールトイレや携帯用トイレにより一時的に使用することはできるが、汚水の処理（汚泥処分も含む）まではできないため、衛生環境の悪化は免れない。また、通常のトイレ使用ができない（時間、場所、状態の制約等）ことによるストレスは、血栓によるエコノミークラス症候群を引き起こす一因と考えられるなど、住民にとって生命にも関わる深刻な負担（特に、入院患者や高齢者にとっては使用そのものが困難な場合もある）。

⇒ 耐震化による機能の確保が必要

既存施設の耐震化状況(平成 18 年 7 月国土交通省調べ)



新潟県中越地震における下水道施設の被害の状況



下水道施設の被災は
住民の生命や社会活動に重大な影響

【未処理下水の放流】

- ・水道水源の汚染
- ・伝染病の発生

【下水道の使用不能】

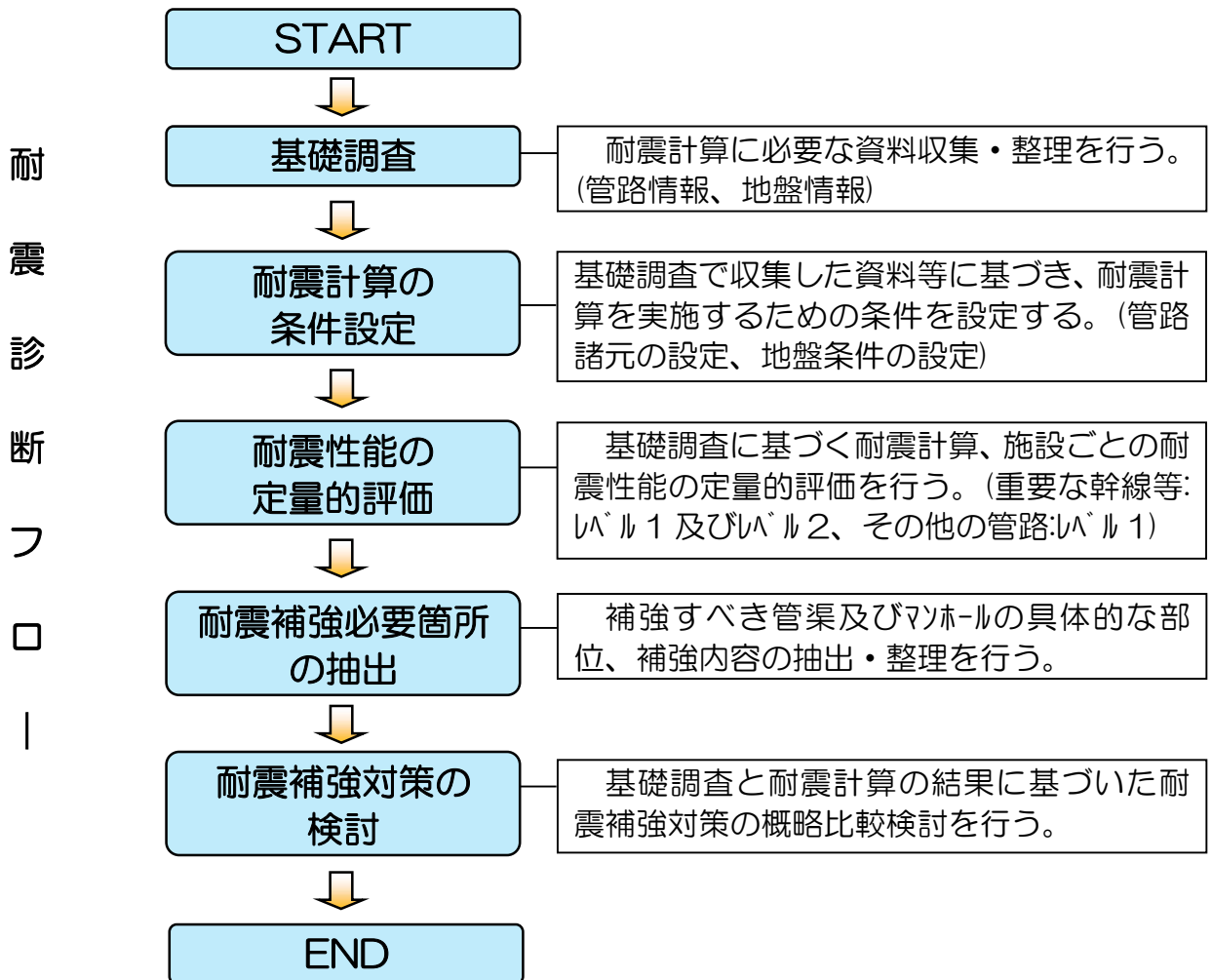
- ・トイレ等が使えないことによる社会混乱、不安の増長
- ・下水の滞留、雨水の排除不能による社会経済活動の停止、混乱、衛生環境の悪化

【下水道施設の損傷による道路への影響など】

- ・マンホールの突出、道路陥没等による復旧活動阻害、交通障害
- ・長期にわたる地域経済への影響

◆既設管路の耐震診断◆

既存管路施設の耐震対策は、地震時において下水道が有すべき機能、緊急度及び重要度に応じて、「重要な幹線等」と「その他の管路」に区分して、優先順位を定め、段階的に実施する。



◆関連業務実績◆

年度	発注機関名	件名	業務概要	TECRIS
H31	福岡市道路下水道局	箱崎5号幹線耐震診断業務委託	レベル2地震動に対して管渠施設の耐震性能を評価し、耐震補強対策として鉄筋コンクリート増し打ちを提案した。	4034513125
H30	福岡市道路下水道局	筥松香椎汚水幹線耐震診断業務委託(4)	福岡市の重要幹線に位置づけされた管路施設の耐震性能を評価し、耐震対策として管更生工法と管きょ継手部耐震対策工法を提案した。	4031452949
H29	福岡市道路下水道局	東浜第2ポンプ場 耐震補強実施設計業務委託	沈砂池、ポンプ井の耐力照査、補強部の構造計算による照査を行い、耐震補強設計を行った。ポンプ場と流入渠及び放流渠の耐震化の検討を行った。	4026728161



建設コンサルタント
第一復建株式会社

〒812-0006 福岡県福岡市博多区上牟田1丁目17番9号

TEL : 092-412-2230 (代表) TEL : 092-412-2231 (直通)

URL : <http://www.dfk.co.jp>